

通常国会閉会

マイナンバー対応や少子化 対策の財源論先送りなど、 今後課題残す!



通常国会は150日間の会期を終えて閉会しました。私は衆議院議院運営委員会の野党筆頭理事として、国会審議を充実させるために与党側との調整・交渉に務めてまいりました。今国会で焦点となった、5年間で43兆円に上る防衛費倍増に向けた増税について、野党が一致して反対し、「防衛財源確保法」の徹底審議を求めました。残念ながら、倍増の必要性についての説明は不十分で、増税の時期も含めた安定財源確保の具体論も先送りされました。岸田政権は、児童手当の所得制限撤廃や対象の拡充などを柱とする少子化対策を決定しましたが、3兆5千億円の財源確保についても、歳出削減に取り組む方針を示すだけで、具体策は年末まで先送りしました。

コロナ禍で我が国の財政状況は急激に悪化しています。今年度末の国債などの国の借金残高は、コロナ禍前から170兆円以上増え、1279兆円に達する見通しです。これ以上、将来世代に負担をつけまわすことは許されません。安易に国債を発行するのではなく、国民の皆さんの負担も含めて、真剣に検討していく必要があります。解散風が吹く中、選挙向けの甘い話ばかりではなく、敢えて、厳しいことも含めて、与野党を超えた議論が必要だと思います。

マイナンバーカードを巡るトラブルが相次いでいます。岸田政権は、健康保険証を廃止してマイナンバーカードに一本化する法律を制定しました。来年の秋には紙の健康保険証は廃止されます。しかし、無保険者扱いで10割負担を患者に請求した事例や、「マイナ保険証」に他人の医療情報がひも付けられた事例が明らかになりました。「高齢者や障害者などが円滑にカードを取得できるのか」、「カードを持たない人に発行される資格確認書が確実に機能するのか」など、国民の不安や懸念が高まる中、拙速に一本化を進めることは許されません。

紙の健康保険証の廃止は撤回して、多くの山積する課題に万全の対策を講じ、国民の信頼を取り戻すことを優先すべきです。通常国会は終わりましたが、閉会中審査を開催するなどして、引き続きしっかりと政府の対応をチェックしてまいります。



笠ひろふみ

りゅう 衆議院議員 元文部科学副大臣





衆議院議院運営委員会の野党筆頭理事、党国対筆頭副委員長として国会対応の先頭に立つ!



議院運営委員会理事会

議運理事会で法案の審議日程や議事進行などについて協議を行います。

今国会では36回の衆議院本会議が開かれ、政府から提出された59件の法律と11件の条約が成立しました。立憲民主党は70件中56件に賛成、14件に反対しました(賛成率80%)。



本会議前に
党の代議士会で
議事を説明



また、国会改革や国会議員の身分や待遇に関することについても協議します。

- 国会開会中に衆参両院の常任・特別委員会の委員長に支給される1日6千円の手当を廃止
- × 野党が求める国会議員に月100万円支給される「調査研究広報滞在費(旧文通費)」の用途公開は自民党の賛成が得られず先送り

自民党・立憲民主党の国対委員長会談 6.21



マイナンバーカード問題について
閉会中審査を行うことで合意

議員外交



2.28 ニューージーランド
ナナイア・マフタ外務大臣



3.3 モンゴル
ザンダンジャタル議長



3.7 モロッコ
タールビー・エル・アラミー
衆議院議長一行を迎えて



4.4 フィリピン
ミゲル・ズビリ上院議長一行を迎えて



6.6 モザンビーク
ピラス議長



5.25 バングラデッシュ シリン・
シャルミン・チョードリー議長一行を迎えて



6.6 来年1月の総統選に
出馬予定の台湾民衆党の
柯文哲主席

国会論戦



永岡文部科学大臣

夜間中学設置の促進や日本語教育の推進などについて永岡文部科学大臣と論戦を展開しました。

超党派の議員連盟

拉致問題国民大集会



拉致議連事務局代理として
決議案文を朗読 5月27日

学校図書館法公布

70周年記念シンポジウム



学校図書館議員連盟事務局長
として来賓挨拶 5月27日